

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	利根運河観光振興事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課			
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	恩田 一成			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、来訪者	意図	利根運河の歴史や自然環境について、利根運河交流館を通して情報発信をし、市民の交流の場や文化施設として、本市の観光振興に資する。
事業内容	利根運河交流館の管理運営業務をNPO等に委託するとともに、利根運河の資料収集、保管及び展示を実施。展示物の説明等により交流館の普及に努める。また、利根運河周辺の観光資源を活用した市民交流事業の創出、地域の観光振興に務める。			
事業開始から現在までの状況変化	平成21年10月の事業開始後、委託先のNPOの働きにより朝市の開催など、利根運河交流館の来訪者も次第に増加傾向にあり、市民交流拠点としての働きを強めている。当初は「ふるさと雇用再生特別基金」を活用した事業であったが現在は市の事業としてNPO法人に委託している。平成27年度から、運河駅の三角コーナーを活用し、ギャラリーを展開している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	来館者数	3,419	4,512	3,879	人
②	運河ギャラリー	0	0	3,875	人	↑↑↑	実績
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 利根運河にちなんだ絵画展や運河の朝市、また協力事業として利根運河シアターナイトなどのイベントに取組み来場者数の増加に努めている						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度	レンタサイクル事業を平成22年度から開始したが、利用者数が伸びない。PR方法等を検討し、今後、流山本町方面の観光拠点（見世蔵）などとの連携により利用しやすくすることで、利用者の向上を図り交流人口の増加につなげたい。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,698,700	5,834,000	5,896,000			
事業費(b)(円)		5,000,000	5,143,000	5,143,000			
うち一般財源		5,000,000	5,143,000	5,143,000			
職員給与費(c)(円)		698,700	691,000	753,000			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	各種イベントの実施により利根運河及び利根運河交流館をPRする。	③取組の課題	交流人口を増やすための新たな事業や魅力あるイベントを検討。
②今年度(H27)に実施した取組	受託者によるさまざまなイベントの実施。	④今後の改善計画	受託者と交流人口を増やすための新規事業や魅力的なイベントを協議。